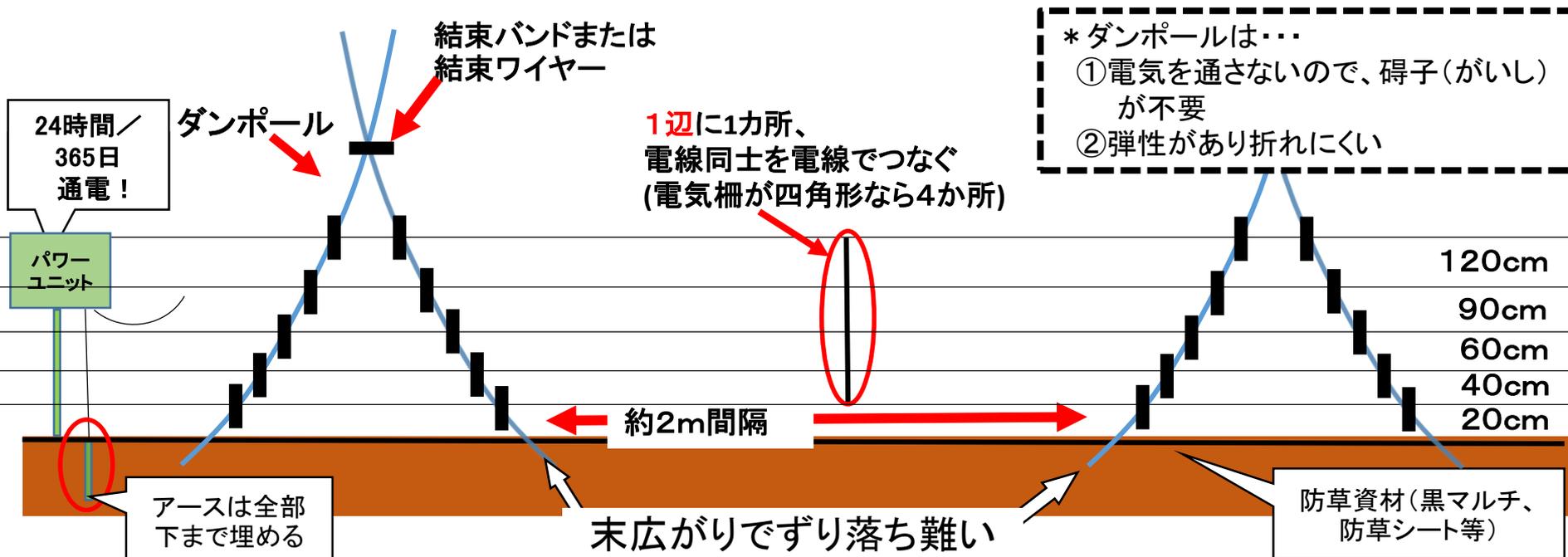


イバシシ+シカ対策

ダンポールで簡単・安価な電気柵



* ダンポールは…

- ① 電気を通さないのので、碍子(がいし)が不要
- ② 弾力があり折れにくい

<手順>

- ① 除草した後、防草資材を幅50cm程度敷く
- ② ダンポールを防草資材の上から半円状になるように差し込む(2mおき程度)
- ③ 電線を20・40・60・90・120cmの5段、たるまない程度にゆるめに張る
- ④ 電線を、結束バンドや結束ワイヤー等でダンポールに留める
 - * 必要な場合は、出入り口を作る。(塩ビ管を使うと簡単。次ページ参照)
- ⑤ 電線にパワーユニットを繋げ、アースを地面に埋め込む
- ⑥ 2本の電線に、電気が4000V以上流れているか、何カ所か確認する



作成: かながわ鳥獣被害対策支援センター (TEL:0463-22-9521)
協力: 大磯町産業観光課 (TEL:0463-61-4100)

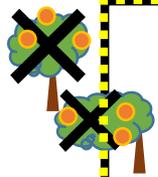
溝などにより、電線と地面の距離が20cm以上になる場合は、その部分に電線を垂らす等してイノシシが潜り抜けないようにする。



電気柵に、草や枝などが触れて漏電しないようにする。
(写真のように防草シートを敷くと管理が容易)



舗装道路等コンクリートから、50cm以上離して設置する



電気柵

出入口



電気柵の内外1m以内に農作物が無いようにする。
植わっている場合は伐採や縮伐等する。



出入口は、電線をつなげたポールを地面に埋めた塩ビ管に差し込み、抜き差しできるようにすると、簡単。